

科 目 名		学 年	単 位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
中国語Ⅰ:Chinese I		4MESC	2	100分×30回	必修	講義・通年	○
教 員 名		加瀬 ウララ:KASE Urara					
授 業 概 要	中国語を学ぶためには、最初に漢字の読み方を表す記号“ピンイン”を覚えることから入り、次に、簡単な会話練習を通して中国語の文法の基礎を学ぶ。中国語の発音には日本語にない“4声”という四つの声調変化があるので、しっかり身に付けるには時間がかかる。授業では積極的に発音練習に参加し、また予習や復習では教科書にあるCDを活用して、聞き取り、発音練習を必ず行ってほしい。初めて中国語を学習するこの1年で、話して通じる中国語を身につけ、コミュニケーションをとる自信につなげてほしいと願う。						
	評 価 方 法						
(1)ピンインと基本単語の読み書き、聞き取りをできるようにすること。 (2)初級文法事項を理解すること。 (3)簡単なことを中国語で表現できるように努力すること。 (4)中国のことに興味を持ち、楽しく学ぶこと。				①前期定期考査(中間＋期末):40%、②後期定期考査(中間＋期末):30%、③口頭試問、音読チェック、自学自習によるレポート:30%によって評価する。			
学 習 ・ 教 育 目 標		(G)②		JABEE基準1(1)		(f)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	シラバスの説明 第1課	講義の進み方、評価方法について説明する。 声調、単母音と複母音を紹介する。	第16	第13課	指示代名詞(2)「ここ、あそこ(そこ)」 方位詞 存在を表し動詞“在”と“有”	
	第2	第2課	子音(1) 子音(2)	第17	第14課	動詞の後ろの“了” 動詞の重ね型 前置詞の“给”	
	第3	第3課	鼻母音(-n, -ngを伴う母音) 轻声 親族名称、人称代名詞	第18	第15課	経験の“过” 動作量補語 前置詞“跟”	
	第4	第4課	声調変化:(1)第3声の変化 (2)“不”の変化 (3)“一”の変化 , r 化 声調の組み合わせい あいさつ言葉	第19	第16課	時間量 時間量補語 前置詞“从”“到”“离”	
	第5	第5課	動詞“是” “吗”疑問文 名前の聞き方と答え方	第20	第17課	助動詞“会” 助動詞“能” 主述述語文	
	第6	第6課	動詞述語文 副詞“也”と“都” 選択疑問文	第21	第18課	比較 “多”+形容詞 年齢の尋ね方	
	第7	第7課	“呢”疑問文 指示代詞(1)「これ、あれ(それ)」 “的”	第22	第19課	“是～的”構文 100以上の数 金額の言い方	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	第8課	疑問詞疑問文 助動詞“想” 時点(1)「今日、今年」など	第24	第20課	状態補語 二重目的語 “有点儿”	
	第10	第9課	形容詞述語文 反復疑問文 “吧”	第25	第21課	方向補語 進行の“在” 禁止	
	第11	第10課	所有を表す動詞“有” 量詞 “几”と“多少”	第26	第22課	結果補語 処置文 助動詞“可以”	
	第12	第11課	文末の“了” 時点(2)時刻 前置詞“在”	第27	第23課	受け身文 使役文 補語のまとめ	
	第13	第12課	連動文 時点(3)年月日、曜日 疑問詞“怎么”	第28	第24課	近い未来 “越来越～” 複文	
	第14	復習	これまでの復習	第29	復習	これまでの復習	
	第15	まとめ	前期のまとめを行う。	第30	まとめ	全体のまとめを行う。また授業アンケートを行う。	
自学自習の内容		レポートを課す。					
関連科目							
教 科 書		「大学生のための初級中国語24回」(杉野元子・黄漢青 著、白帝社)					
参 考 書							
授業評価・理解度		最終回に授業アンケートを行う。					
副担当教員		畑村 学(Hatamura Manabu)					
備 考							